

(第2号様式)

陽明第 2783 号
令和6年 3月25日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立陽明高等学校
沖縄県立陽明高等支援学校
校長 宮里 哲
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和5年7月14日	本校会議室	評議員4名、職員9名
第2回	令和5年12月22日	本校会議室	評議員2名、職員9名
第3回	令和6年3月22日	本校会議室	評議員3名、職員9名

2 学校評議員に求めた事項

・学校経営方針をもとにした教育活動全般(重点努力目標7項目)に関する評価及び助言
①学力向上と希望進路の実現、②総合学科・総合産業科の魅力化、③学校の活性化、④信頼される学校づくり、⑤授業改善と教育環境の整備、⑥特別活動の充実と規範意識の醸成、⑦働き方改革と業務改善、ハラスメントの防止
・体育施設改築等に関する助言、・教職員の働き方改革に関する助言

3 学校評議員の意見

・転出生徒の多さと勤怠面等で気になります、子どもの居場所づくり事業にも関わっていますので、不登校で課題のある生徒に活用できる場を提供できたらと思います。
・体育施設改築の進捗状況について、新校舎はグラウンド建設予定地よりも低地になっているので大雨時に土砂等の問題がないよう確認して欲しい。
・インクルーシブ教育について、講師招聘による講演会などの成果に期待します。社会では自死問題も絶えないので「生きる力」の育成に向け、いい大人に出会って欲しい。
・教育活動の情報発信の充実に向け、入学式におけるアカウント登録を検討してください。
・学校の活性化にむけ、部活動の活動場所の確保及び加入率向上に努めて下さい。
・「地域の子は地域で守り育てる」の機運醸成のため、高校生の協力を得ながら子供たちの活躍できる場を増やしていきたい。

4 学校運営に反映した事項

①単位履修生及び休学生徒など、支援を要する生徒に対して就学継続に向け、関係機関の連携を得ながら粘り強く指導を行うことができた。
②実践発表会において高校と高等支援の成果を保護者及び地域に向け発表ができた。
③生徒のキャリア教育の充実に向け、高専連携による授業及び地域交流授業や高等支援の介護入門研修を実践できた。

5 課題

①支援を要する生徒対応について、関係機関及び職員の共通理解を得ながら就学の継続に取り組む必要がある。特に勤怠状況の改善のため、次年度も粘り強い対応が必要である。
②高専連携の活用及びPTAの協力を得ながら検定及び資格取得の充実に取り組む必要がある。
③働き方改革について、保護者の中にも各競技の経験者はいるので協力を得ながら、時間外業務時間の縮減に取り組む必要がある。